

ボランティアNEWS

第23号(2009年2月)

ボランティア研修のお知らせ～郷土資料館

2月7日(土)のボランティア研修は「バウムクーヘン作り」を行います。なぜ郷土資料館でバウムクーヘン?と思われる方は多いでしょうが、日本のバウムクーヘンが広島発祥というのは知る人ぞ知る話です。バウムクーヘンで有名な「ユーハイム」は、カール・ユーハイムさんが起こした会社です。彼は、今から90年以上前ドイツの租借地チンタオ(青島)でケーキ職人をしていました。第1次世界大戦のときに多くの捕虜がチンタオから日本に連行され、大阪の収容所から似島の捕虜収容所に移されました。ユーハイムさんはその中の1人で、収容所で菓子を焼いていたのですが、大正8年3月4日から始まった「広島県物産陳列館(現原爆ドーム)捕虜製作品展覧会」に彼のバウムクーヘンが出品され、大評判になったのです。これが日本人とバウムクーヘンが最初に出会った出来事とされています。今でも広島市



似島臨海少年自然の家の体験メニューとしても行われており、郷土資料館でも、体験教室のメニューとして昨年から行っていますが、大人気であつという間に定員になる講座です。どのようにユーハイムさんがバウムクーヘンを焼いたのか・・・一緒に体験してみましょう。2月7日(土)10:00～12:00に行います。参加される方は、2月5日(木)までにご連絡下さい。な

お材料等の関係もあり、参加希望者が5名以下の場合は申し訳ありませんが中止とさせていただきます。みなさんふるってご参加ください。(郷土資料館 小林)

「江戸時代のカキ船料理」に舌鼓!

1月16日(金)宇品公民館との共催事業で、草津(西区)のカキ業者が大阪城下でもてなしたカキ船料理再現の講座を行いました。長年カキ養殖に携わり、現在は郷土料理研究家でもある元丹那漁協組合長の川上清さん指導の下、カキが大好きな方とボランティアの方がカキ尽くし料理に挑戦しました。

1832（天保3）年、現在の富山県高岡市の僧侶が旅の道中大坂に立ち寄り、土佐堀川で営業していたカキ船で食べたカキのフルコース8品を紀行文の中で詳細に残しています。今回はそのうち4品を再現しました。川上さんに、カキの洗い方、カキエキスたっぷりのだしのとおり方などを伝授していただき、次から次へとカキ料理が完成しました。



豪華なカキ料理の数々です！

今回一人あたり江波のカキを26粒堪能！ 「ここまでのカキ尽くしは贅沢で貴重だ」と馴染みの少ない江戸時代の味付け、新食感にご満悦の参加者でした。（郷土資料館 山縣）

広島城内の知られざる樹木

ご存じの通り、広島城天守閣周辺は豊かな緑に恵まれています。「いい職場環境だよなあ」と思いつつ、どんな木があるのかについてはよく知りませんでした。約2年前から「広島城内樹木調べ隊」と一緒に活動していましたが、こんな木があったのか~とよく驚かされました。今回は実がなる樹木を紹介したいと思います。



実らせませす。

右の写真はカラタチの実です。カラタチは本丸上段の南側の際に生えていますが、他の木々に隠れてほとんど見えず、知っている人はほとんどいないと思います。カラタチといえば北原白秋作詩の「からたちの花」が有名ですが、「からたちも秋はみのるよ、まろいまろい金のたまだよ」



と謡われたままの可愛らしい姿です。去年、実を食してみました。酸味と苦みが強いので普通は食用にしないとのことでしたが、私には好ましい味で、鍋料理の時に使ったらいいかもと思いました。

またサンゴジュという木もあります。生垣に使われることが多いので、一般的には低木というイメージがありますが、城のサンゴジュはのびのびと育って巨木になっているものがあります。そして手入れされるが故に普段はあまり目



にできない、花や実もたくさんつけます。写真のように真っ赤な実があるので（右写真）とても綺麗です。

今後、3月下旬を目標に、城内の樹木に銘板を付ける作業をしていきます。この作業には「広島城樹木調べ隊」の他、基町小学校・白島小学

樹木調べ隊のメンバーです

校の6年生98名が参加してくれます。どのような銘板ができるか楽しみです。

また銘板ができることによって、広島城の樹木が多くの人に親しまれるようになればと思います。

（広島城 本田）

研修会へのご参加ありがとうございました～文化財課



1月のボランティア研修会「ホトケの見かた入門 ホトケの材料と作り方」を文化財課にて、17日（土）に行いました。途中で部屋の時計が止まってしまい、それに私が気づかず1時間半休憩なしというハプニングにもめげず、みなさん熱心に聞いて下さいました。

鋭いご質問にヒヤリとすることもありましたが、「知っているホト

ケを見るのがちょっと楽しくなる」ようなお話ができたでしょうか？ 仏教美術についての研修は、今後も続けていけたらと思っています。どうぞお楽しみに。

古代のもの作りを体験しませんか？

文化財課の出張事業としてはすでにおなじみの土もの作り。いつもは指導する側なのですが、指導するにはまず自分が作る所から！ ということで、2月16日（月）～18日（水）に土もの作りの練習を行います。内容は、土器・埴輪・土笛の中から好きなものを選んで頂けます。



去年の春に作った埴輪です

「土もの作りは初めてで不安」という方も「何度もやって極めたい!」という方も、お気軽にご参加下さい。なお、作ったものは3月に野焼きしますが、2月のご参加だけでもかまいません。3日間のうちご都合のよい日を選んで、文化財課までご連絡下さい。（文化財課 中原）

募集しま〜す！

1 研修会のご案内 事前に各担当施設にご連絡ください。

日時	事業名	内容	会場(担当施設)
2月7日(土) 10:00~12:00 (年度初めにお配りした日程表から日時が変更になっております)	「バウムクーヘン作り」	2月13・14日に行なう「広島発祥！バウムクーヘン作り」にむけての研修会 (1ページを参照ください)	郷土資料館

2 事業のご案内 各事業での指導等に腕を振るってください！ 事前に各担当施設にご連絡ください。

日時	事業	内容	会場(担当施設)
2/13(金) 10:00~12:00 2/14(土) 13:00~15:00	大人の教室・教室事業 「広島発祥！バウムクーヘン作り」	炭火を使ってのバウムクーヘン作りの指導補助 どちらかの日だけでも構いません。	郷土資料館
2/16(月)~2/18(水) 9:30~12:00	土もの作り	土粘土を使った土器・埴輪・土笛作り練習 (好きなものを選んで頂けます) ご都合のよい日にご参加下さい。	文化財課
2/21(土) 13:00~15:00	教室事業 「あぶりだしアート」	あぶり出し遊びの指導・会場管理	郷土資料館
5/30(土) 10:00~16:00 (時間は予定)	「メモリアルデー」(仮称) 20年6月1日に行った館内外を使ったイベントと同様のものを21年も実施予定。	広島城により親しんでもらえるための楽しいイベントを皆様の手で作っていきます。内容はボランティアの皆様にご協力をお願いいたします。参加希望者を随時募集しています。興味のある人はお気軽にお電話ください。	広島城及びその周辺 (広島城)

広島城 担当/玉置・本田 TEL 082 - 221 - 7512 FAX 082 - 221 - 7519
 メールアドレス 玉置 tamaki@rijo-castle.jp 本田 honda@rijo-castle.jp
 ホームページ <http://www.rijo-castle.jp>
郷土資料館 担当/大室・山縣・前野 TEL 082 - 253 - 6771 FAX 082 - 253 - 6772
 メールアドレス kyodo@hiroins-net.ne.jp
 ホームページ <http://www.hiroins-net.ne.jp/kyodo/>
文化財課 担当/中原・荒川・田村 TEL 082 - 568 - 6511 FAX 082 - 568 - 6513
 メールアドレス 中原 naka@mogurin.or.jp 荒川 ara@mogurin.or.jp
 田村 tam@mogurin.or.jp
 ホームページ <http://www.mogurin.or.jp>